

第3ステップ ▶ A

# ことばの ルールを まな 学ぶ

おうちの方へ

第3ステップでは、これまで学んできたことの総復習をしながら、1ランク上の問題にも挑戦してもらいます。

この第3ステップを行うことで、第1・第2ステップで学んだことが定着しているかどうかを判断できるでしょう。もし定着していないようでしたら、もう一度、第1ステップ、第2ステップを復習させてみて、その後で改めて、第3ステップの難しいの問題に挑戦させてみるのもよいでしょう。

これで、低学年の三つのステップの終了です。ここまでしっかりと勉強してきた人は、ことばの力がかなりついているはずですよ。

もんだい 1

誤文訂正の問題

答えは、べっさつ

5ページ

つぎの文にはおかしなところがあります。  
正しく書き直しましょう。

1 きみの言うとうりだ。

おうちの方への  
アドバイス



誤文訂正問題をまとめてみました

これまで学んだことの総復習の意味を兼ねて、誤文訂正問題をまとめてみました。前半の問題はごくやさしいはずですので、どんどん進めさせてください。後半は、初めて学習するタイプの問題や大人でも間違いやすい問題、書きことば特有の問題も含まれています。少し注意が必要です。

2

みゆきちゃんは、とても大きな目おしている。

3

子どもの日にわ、かしわもちを食べるものだ。

4

スーパーマーケットに買い物に行きます。

5

しくだいをおわらせてから、あそびに行きなさい。

6

左がはの本を見てください。

7

テストで百点ひゃくてんをとるのはむづかしい。

8

道みちを左ひだりへ行くと、そこはびよういんだった。

9

先生せんせいはそんなことをゆわなおもいと思います。

10

まんがのつずきをもっと読よみたい。

11

となりの家いえに、ドンという大おおきな音おとがした。

16

ぼくは、はやいボールをなげられません。

15

ようこちゃんは、いつも左手へビー玉だまをもっていきます。

14

わたしは食パンしよくの耳みみをきらいです。

13

にわの土つちをいくらほったら、たからものは出でてきませんでした。

12

上うえをむいて歩あるくのがあぶない。

17

わたしが知<sup>し</sup>っているのは、お母<sup>かあ</sup>さんが自<sup>じ</sup>てん車<sup>しゃ</sup>にのれないことを知<sup>し</sup>っています。

18

こういちくんは、おこるとすぐに、口<sup>くち</sup>をとがらさせる。

19

ぼくが思<sup>おも</sup>い出<sup>だ</sup>したのは、遠<sup>えん</sup>足<sup>そく</sup>に行<sup>い</sup>きました。

20

さっちゃんがないたのは、たけしくんがさっちゃんをいじめました。

もんだい 2

三

ことばの用法に慣れる問題

答えは、べっさつ

6 ページ

( ) 中の正しいほうを、

○でかこみましょう。



1 毎朝、わたしは弟を (おきる・おこす)。

2 新しいビルが (たつ・たてる)。

3 お母さんは、わたしをおつかいに (行かせる・行く)。

4 さん歩のとき、犬を先に (歩かせる・歩く)。

5 道を歩いているときに、わたしはどろぼうにお金を (ぬすまれた・ぬすんだ)。

おうちの方への  
アドバイス



自動詞と他動詞の使い分け、  
使役や受け身の表現の使い方の練習

小学校低学年では、厳密に文法的な用法を  
覚える必要はありません。概念の違いを理解  
する必要はありません。

ここでの問題は、動詞や助動詞などの述語  
にかかわる表現を自由に使えるようにして、  
ことばを客観的にとらえることができるよう  
にするのが目的です。ことばを使うのが苦手  
な人は、状況に応じた応用ができないことが  
多いのです。ここで挙げたような用法を理解  
することで、ことばの理解が深まります。

6 ぼくは妹いもうとを（なかせて・ないて）しまった。

7 いきおいよくドアを（しめる・しまる）。

8 わたしは、学校がっこうに行くとき、あきらくんに足あしを（けった・けられた）。

9 カバが口くちを大おおきく（あけている・あいている）。

10 わたしはお父とうさんの帰かえりを（まっている・またせている）。



も

ん

だ

い

3

ニ

ことばの活用の練習をする問題

答えは、べっさつ

6

ページ

( ) の中のことばを、後のことばとつながるように、正しい形にかえましょう。

1 となりの犬が、(ほえる) ている。

答え ( )

2 だんだん元気が(でる) てきた。

答え ( )

3 午後になって、雨が(やむ) だ。

答え ( )

おうちの方への  
アドバイス



ことばの活用の練習をして、ことばを自由に扱えるようにします。ほとんどの人が、動詞などを無意識のうちに活用させて使っています。これは、いつのまにかできるようになっているのだと思います。しかし、言語能力の低い人は即座に活用ができないことがあります。そして、そのような人は、英語も古文も苦手になってしまいます。小学生のころから、ことばの活用の練習をさせることによって、ことばを自由に扱えるようにする必要があります。



4

おなかを（こわす）たので、くすりをのんだ。  
答え（ ）

5

池にこおりが（はる）ている。  
答え（ ）

6

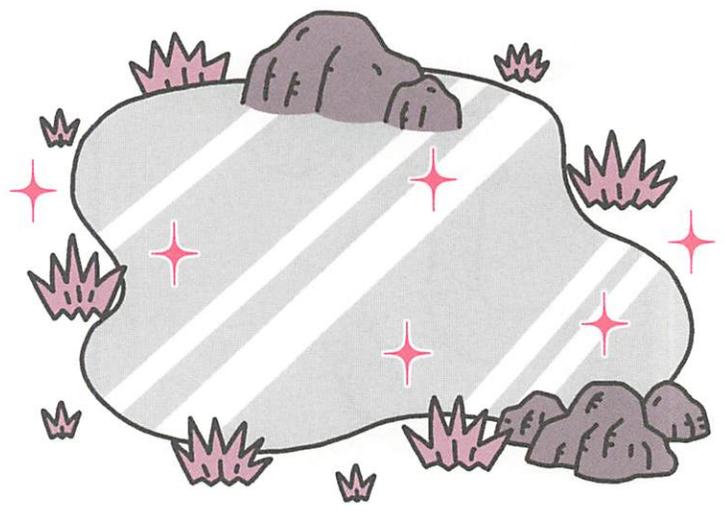
足が（すべる）て立ち上がれない。  
答え（ ）

7

お父さんが、いびきを（かく）ている。  
答え（ ）

8

おなかが（へる）て、元気が出なかった。  
答え（ ）





**おぼえよう!**

なかまのことばを  
おぼえよう②

◎てんき天気のなかま

は 晴れ, くもり, あめ 雨, あらし,  
ゆき 雪, たいふう 台風, あられ



◎おと音のなかま

トントン, バタバタ, ガンガン,  
カンカン, コロコロ

◎がっこう学校ですること

えんそく 遠足, おんがくかい 音楽会, うんどうかい うんどう会,  
ちようかい 朝会, はっぴようかい はっぴよう会

◎ば場しよ

がっこう 学校, こうじよう 工場, かいしゃ 会社, こうえん 公園, ひろ 広  
ば 場, コンビニ コンビニ, お店 お店

10

答え ( はし 走っているとき、(ころぶ) でしまった。 )

9

答え ( わたしは、きゆう食しょくをのこさず食たべたと、お母かあさんにうそを(つく)た。 )



ことばのつかい方の正しいほうの記号に、○をつけましょう。

1

ア りんごを二つください。

それとも、みかんを三つください。

イ りんごを二つください。

それから、みかんを三つください。

2

ア かぜをひいた。でも、くすりはにがいのので、のみたくない。

イ かぜをひいた。そして、くすりはにがいのので、のみたくない。

3

ア えんぴつを五本買った。しかし、けしゴムが一つついてきた。

おうちの方への  
アドバイス



正しい接続詞を選ぶ練習

接続詞は、文と文などをつないで、その関係をはっきりさせる重要な役割を果たします。逆に言いますと、接続詞をしつかりと理解していれば、文章を読み取るとき、大きな手がかりになります。そのため、高校入試や大学入試の国語のテストなどで、接続詞を空欄に入れさせる問題がよく出るわけです。

小学校低学年の子どもに接続詞を考えて書かせるのは無理なので、ここでは、正しい接続詞を選ぶ練習をします。

こうして、接続詞の基礎を学びます。

4

イ えんぴつを五本買った。すると、けしゴムが一つついてきた。

ア ぼくはアメリカにすんでいたことがある。でも、えい語は話せない。

イ ぼくはアメリカにすんでいたことがある。だから、えい語は話せない。

5

ア わたしはピーマンが大きいです。だから、ピーマンを見るのもいやです。

イ わたしはピーマンが大きいです。しかし、ピーマンを見るのもいやです。

6

ア カレーライスにしようか。そして、スパゲッティにしようか。

イ カレーライスにしようか。それとも、スパゲッティにしようか。

7

ア わたしは歌うことが好きです。だから、しよう来、歌手になりたいです。

イ わたしは歌うことが好きです。それでも、しよう来、歌手になりたいです。